

第10期地域協議会委員 ふりかえり意見まとめ

◆第10期地域協議会委員任期中に印象に残ったことをお聞かせください。

- ・市の担当者からの説明はすでに決定事項であるということ、意見は「お聞きします」という態度だけれど、既に決定事項であることは変わらない。
- ・発言する人は同じで、やっぱりオープンに話をするという雰囲気ではないのかな。
- ・地域自治区終了後の地域自治をどう進めるかの話し合いや、地域の在り方についての意見交換（区を残すことのアンケート、未来を考える説明会、答申書の作成検討など）
- ・浜益の未来について語り合う雰囲気や浜益愛を感じた
- ・「地域の今後の在り方について」地域自治区設置期間満了を目前に控え、危機感を持ってより真剣に議論できたのではないだろうか。
- ・集落支援員の導入により、地域課題の収集や団体等への支援をとおして、高齢化が進む区の地域づくりの一助となったのではないだろうか。
- ・地域おこし協力隊の途中辞職が残念であった。

◆今後の浜益の地域づくりを進めるために必要なことは何だと思いますか？

- ・熱い気持ち
- ・「地域の住民の小さなささやき」を聞き取り、「いっぺかだれや」の中から聞かれている声を具現化して仲間（共感してくれる）を増やしていく
- ・浜益の魅力発信と、住民の幸福度アップのカレンダー事業や、交通、買い物など高齢者サポート
- ・持続可能イベントにより集客&知名度アップ（パワースポット、スポーツイベント、スノーモービル）
- ・観光と食の道の駅的スポット施設の新設
- ・浜ワークを中心とした雇用の確保や担い手等への行政や地域協議会、地域の協力支援が必要。
- ・人口減少と高齢化による地域活動や生活支援のための、常勤での集落支援員の拡充が必要。

- ・明確な目的意識、共通の思い、将来ビジョン、危機感

→住民の意識啓発 財源、運用資金も必要 オフィシャルでオープンな場所も必要。

◆地域自治区振興事業の今後についてご意見などお聞かせください。

- ・「区民カレンダーの継続」
- ・関係人口増や労働人口？労働者確保へ向けた活動の推進
- ・地域課題の解決や、これからの地域づくりにつながる事業への支援
- ・「いっぺかだれやの会」のアイデアを参考にしたい
- ・いきおいだけの単発モノではなく、無理なくじっくり継続できることを重要視したい

◆第11期地域協議会に求めることはありますか。

- ・浜益をどうするかを一番に協議できるように（困っていること、要望とか、いっぺかだれやで出た声について等）
- ・少数精鋭での活動が周囲へ伝わり、周囲から応援、支援される会となること
- ・これからのまちづくりを進めるための将来展望やビジョンを明確にし、「地域おこし協力隊」と「集落支援員」の拡充をするなど、地域課題の解決や生活支援等に取り組んでほしい
- ・しっかりと中身のある会議であってほしい

◆令和8年4月からの新しい組織に求めることは何ですか。

- ・浜益づくり
- ・浜益の未来の幸せや住民の声が届く組織になり、多様な人がうまくかわりながら支所（行政）とも連携を継続して楽しく活動する組織にしたい。
- ・地域や各種団体等からの意見や提案等を集約し、地域課題の解決や、地域に暮らす方々が安全、安心に生活できる地域づくりを目指し、取り組んでいただきたい。
- ・実行力と企画力を伴う自発的行動のある組織（承認するだけのお飾り機関はいらない）

◆その他ご意見等ありましたら書きください。

- ・（勉強会など）市の人を入れずに話をしたのは、本音で楽しかったです。